



令和5年度

茨城県優良図書紹介【幼児向け】



『ヨルとよる』

あさのますみ 作、よしむらめぐ 絵 (教育画劇)

そとにでたことのないヨルは町ネズミにさそわれ、うまれてはじめて、まぶしくてにぎやかなよるのまちへぼうけんにでかけます。はじめてたいけんするよるは、どんなよる？



『た』 田島征三 (佼成出版社)

「た」これはいったいなに？
おこめができるまでのようすを「た」ではじまることばでおしえてくれます。ページをめくるたびに、だいはくりよくのえがめのまえにあらわれる！



『とんでやすんでかんがえて…』五味太郎 (偕成社)

ことりさんは、ひろくておおきなうみをすすむにはどうしたらよいかかんがえました。どうしたらいい？むりそうだったらどうすればいい？はたしてことりさんがさいごにだしたこたえはなあに？



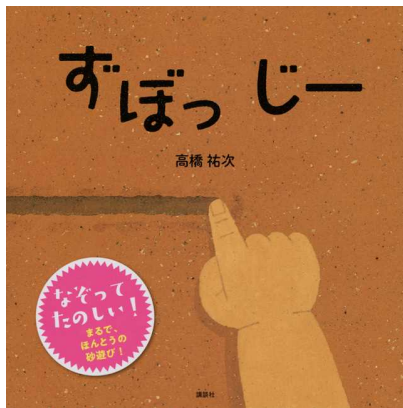
『はんぶんこ』 杜今日子 (福音館書店)

まあるいドーナツ、アツアツのやきいも、ふんわりにくまん！どれもほんとうにおいしそう。「はんぶんこ」にわけるとどんなかたちにへんしんするかな？



『おすしがふくをかいにきた』 田中達也（白泉社）

まぐろのふくをきたおすしがふくをかいにおみせにやってきた！ずらりとならんだきれいなふく。「おもいきってトロにしようかな？」つづいてアイスがぼうしをかいにきた。さいごにやってきたイチゴがえらんだベッドは？



『ずぼっ じー』 高橋祐次（講談社）

みんなだいすき、すなあそびのえほんです。えほんのとおりにゆびでなぞってみましょう。「さらさら」「じゅりじゅり」ほんとうにすなをさわっているようなきぶんになります。

『へび ながすぎる』 ふくながじゅんぺい（こぐま社）



ものすごくながーいへびで、へびとはきづかずにたのしくあそぶどうぶつたち。うさぎさんはなわとびをして、ごりらさんはターザンごっこ、そしてみんなでプールあそび!? ラストにおどろきのてんかいがまっています。



『すきなものがちがうけど』

リンダ・アシュマン 作、イヴ・コイ 絵、福本友美子 訳（ほるぷ出版）

「あついひ だいすき」「さむいひ だいすき」おとこのことおんなのこはすきなものをたくさんおしえあいます。でもふたりのすきなものはぜんぶちがいます。ふたりはなかよくなれるかな？



『ホットプレート よ〜いどん!』

さいとうしのぶ (白泉社)

「よ〜いどん!」ホットプレートにいろいろなたべものがとびこんで、おいしいりょうりにだいへんしん!ホットプレートパーティーのはじまりです。



『よしよしよしおさん』

おおのたろう (ポプラ社)

「よしよしよしお よしよしよし」よしおさんが、こまっているひとのあたまをなでると、あらふしぎ!もんだいかいけつ!みなさんも「よしよし」されたきぶんになれますよ。



『いきぬけ! サバンナのどうぶつ』

鎌田歩 (教育画劇)

にげろ!はしれ!はらはらどきどき!
ゾウ、カバ、キリン、ライオン、シマウマ、ジャッカル…
ちからづよくいきるサバンナのどうぶつたちがいっぱいとうじょうするよ!



『だれのほね? 2ぼくたちきょうりゅう』

たけうちちひろ 作、福井県立恐竜博物館 監修 (出版ワークス)

このほね、だれのほねかわかるかな? みんなのだいすきなきょうりゅうのはなしです。ほねをみて、たくさんのきょうりゅうのすがたをそうぞうしてみよう。